

労働力調査（基本集計）

2023年（令和5年）1～3月期平均

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6685万人と、前年同期に比べ22万人の増加
- ・ 完全失業者数は177万人と、前年同期に比べ5万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.6%と、前年同期に比べ0.1ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、北関東・甲信、北陸、東海及び沖縄は増加、東北及び近畿は同数、中国、四国及び九州は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、北関東・甲信、中国、四国及び九州は減少、南関東、北陸、近畿及び沖縄は同数、東北及び東海は増加

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	2.6%	(0.5ポイント低下)	近畿	2.9%	(0.1ポイント上昇)
東北	2.8%	(0.2ポイント上昇)	中国	2.0%	(0.2ポイント低下)
南関東	2.7%	(0.1ポイント低下)	四国	2.2%	(0.2 ")
北関東・甲信	2.4%	(0.3 ")	九州	2.4%	(0.5 ")
北陸	2.5%	(0.2 ")	沖縄	3.4%	(0.5 ")
東海	2.3%	(0.4ポイント上昇)			

図1 地域別完全失業率

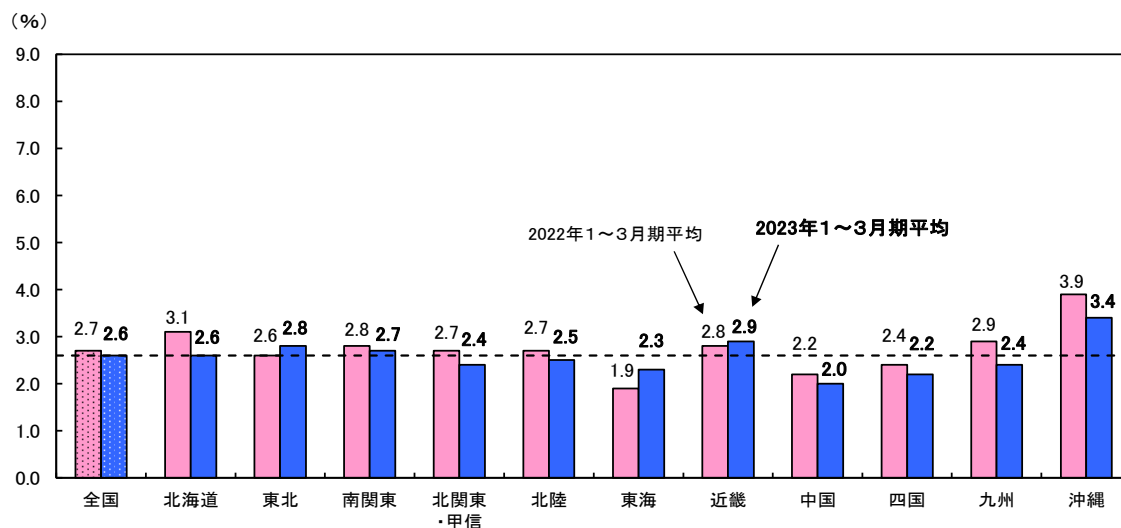


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

